チャレンジネット

第２号

令和７年９月１２日
富山県立富山総合支援学校
進　路　指　導　部

「高等部における進路指導の取組について」

高等部主任　中道　正

高等部では、進路学習として、就業体験・生活体験を実施しています。就労を目指す生徒については、１年生の 11 月、２年生の６月と 11 月、３年生の６月に実施し、その後は就職が決まるまで随時、就業体験を行います。また、１年生の６月には、就労希望者を対象に、校内就業体験を実施しています。生活介護事業所等での生活体験は、２年生の 11 月、３年生の６月に行います。体験先については、本人及び保護者の希望を基に、進路指導主事を中心に、担任や学年主任が一緒に検討し決めています。

体験は、学校や家庭で身に付けた知識や技能を、企業や福祉施設という実際の場で実践・確認するとともに、体験を通して明らかになった課題や評価を、今後の学習や生活の改善に活かす良い機会と捉えています。そして、就業体験･生活体験を充実したものにするには、保護者の方の協力が欠かせません。また、体験を機会に、卒業後の生活をイメージした家庭での支援を考えることは、生徒の将来の自立や社会参加に向けた準備という点でも、非常に意義のあることです。

進路決定のためには、進路先となる企業や福祉施設の情報はもとより、普段の生活に関わる障害福祉サービスの仕組みや内容などたくさんの情報が必要になります。保護者の方々とそれらの情報を共有し、連携を取りながらよりよい進路選択につながるよう、学校と家庭が協力して支援することが必要となってきます。今後ともよろしくお願いします。

高等部就業体験･生活体験

☆就業体験・生活体験を行いました。

高等部２年生　就業体験・生活体験先　（６月９日～６月２０日）

＜企業等＞

・ウェルシア富山　上滝店
・G&G アソシエイト株式会社
・日清医療食品株式会社
・富山総合ビルセンター株式会社
・株式会社大阪屋ショップ　藤木店
・北陸電気工業株式会社
・老人介護事業所　あさひホーム吉作
・特別養護老人ホーム　梨雲苑ゆうゆう

＜就労継続支援事業所＞

・就労継続支援Ａ型事業所　サンズ
・就労継続支援Ｂ型事業所　やねのうえのガチョウ
・就労継続支援Ｂ型事業所　ALSIA 富山
・多機能型事業所　このみ

＜生活介護事業所＞

・富山市生活介護事業所　第一あすなろ
・多機能型事業所　このみ
・くるみ Bee こぱん　りすの森
・生活介護　あゆみの郷

高等部３年生　就業体験・生活体験先　（６月２日～６月２０日）

＜企業等＞

- 株式会社スカイインテック
- ウエルシア富山　大泉店
- 朝日印刷ビジネスサポート株式会社
- 塚本郵便逓送株式会社　富山本社
- 小林製薬チャレンジド株式会社

＜就労継続支援事業所＞

- 就労移行支援事業所　ウェルビー富山センター
- 就労継続支援Ｂ型事業所　すまいる・きゃりあ
- 就労継続支援Ｂ型事業所　ジョブステーションさくら　長江事業所
- セリュー　就労継続支援Ａ型・Ｂ型
- 就労継続支援Ａ型事業所　ｓｅｌｆ－Ａ・ハニービー環水公園前
- 多機能型事業所　U-MATE　富山センター

＜自立訓練事業所＞

- 自立訓練（生活訓練）事業所　ディーエンカレッジ　富山キャンパス

＜生活介護事業所＞

- ラッコハウス
- ぼらハートつくし

洗う食器の量が多くて大変だったが、将来の就業のために挑戦する気持ちで、最後まで集中して取り組むことができた。１１月の体験では大きな声で挨拶するなど、更にチャレンジする気持ちで取り組むようにしたい。　（就業体験・生徒）

帰宅後に短時間の気晴らしや好きなものを食べさせるなどして１日の緊張を解きほぐすこと、話をよく聞いてあげることなどに、体験中気を配りました。難しい手作業も、ほめていただくことで、やりきって帰ってくる姿が嬉しかったです。　（就業体験・保護者）

作業に取り組む中で、初対面の人に「報・連・相」をすることが、緊張して難しかった。１１月の体験では、どうすればできるようになるかを考えたり、学校で練習をしたりして、自分の進路決定に生かしていきたい。　（就業体験・生徒）

毎日元気に「行ってきます」に始まり、大きく崩れることもなく終了できました。その日にうまくいかなかった事について、帰宅後に振り返ってどうしたらよかったかを話し合い、実のある体験ができたと思います。　（就業体験・保護者）

新しい作業のときは、指示をよく聞いて確認しながら作業すること、失敗しても気持ちを切り替え、表情や態度に出さないようにすることを気を付けたいと思いました。　（就業体験・生徒）

早寝早起きを心掛け、朝には体験先に行くことを話し掛けました。初めは緊張していたようですが、すぐに慣れて、食事や入浴を体験できてよかったです。　（生活体験・保護者）

評価と課題

〇評価

- 声が大きく笑顔で会話ができ、礼儀正しく好印象であった。
- 物の扱いが丁寧、片付けがきちんとできるなど、作業をする上での基本的なことが身に付いていた。
- 分からないことはその都度確認し、正確に作業を進められていた。
- 勤務態度が真面目で、集中して一生懸命に取り組む姿が見られた。

〇課題

- 体力の強化が必要である。
- 困っていることや自分の思いなどを、相手に伝えてほしい。
- メモを取り、それを見返して復習するとよい。
- 丁寧さは必要だが、時間を意識することも大事である。
- 働くことの喜び、価値を見出してほしい。

各学部の取組

小学部　～仕事体験より～

小学部６年生の児童が、キャリア教育の一環として、富山市恵光学園やミックスベリー、サンピース支援センターで仕事体験を行いました。タオル干しや仕分け作業、クッキー作り、皿洗いなど、それぞれの児童に合った作業を行いました。どの児童も集中して仕事を行うことができ、達成感を感じられる体験となりました。

中学部　～夏休みの生活より～

仕事見学会でＢ型事業所「やらんまいけ富山」に行きました。初めての場所でしたが、見本と同じようにビーズを並べる活動に、笑顔で落ち着いて取り組むことができました。　　　（中学部２年　生徒）

高等部の体験学習会に参加しました。体験授業では、布や木を使った小物作りをしました。初めて糸のこを使って少し緊張しましたが、楽しかったようです。

（中学部３年　保護者）

積極的にお手伝いをしました。食洗器の中の食器を食器棚に片付けるお手伝いをてきぱきとして、家族から、助かると喜ばれました。（中学部１年　生徒）

高等部　～職業講話「先輩に学ぶ」～

７月３１日に、高等部の就労希望生徒と保護者を対象に、就労している卒業生３名から、現在の仕事内容や通勤方法、在学中にしておけばよいことなどの話を聞きました。その一部を紹介します。

・目覚ましを掛け、早起きをし、朝食をしっかり食べ、体調管理に気を付けています。
・元気に挨拶するようにしています。
・仕事場では、けがをしないように気を付けています。
・分からないことは、先輩に聞き、ミスしたときは、報告や相談をしています。

＜職場の方から先輩の仕事の様子を聞きました＞
・決められた手順に従って業務できている。
・教えてもらったことをメモに取り、忘れないように努力し、前向きな姿勢である。
・仕事に前向きで、自分に与えられたことに取り組んでいる。
・報告、連絡、相談を忠実にやってくれる。

中小企業家同友会　会社見学・体験会報告

夏季休業中に、中学部は会社見学、高等部は会社見学及び体験をしました。

中学部１名は株式会社やらんまいけ富山Ｂ型事業所（アイロンビーズの作品作り）、高等部５名は株式会社雲外蒼天（レジ打ち）、株式会社サンエツ（箱折りやお菓子、ナプキンの袋詰め）、株式会社なかたに印刷（名刺、紙のランタン作り）、株式会社ブレイス（弁当の盛り付け）、株式会社やらんまいけ富山Ａ型事業所（金属ベアリングの検品）で体験してきました。

難しい仕事もあったようですが、担当の方に優しく教えてもらい、楽しい体験になりました。

実際の仕事を体験することができ、有意義な時間を過ごしました。

第１回インターンシップ推進委員会報告

インターンシップ推進委員会を開催しました。

日　時：令和７年７月１日（火）　１０：００～１１：３０

委　員・富山公共職業安定所　上席職業指導官
- 富山障害者就業･生活支援センター　就業支援ワーカー
- 株式会社富山村田製作所　管理部人事課
- 就労継続支援Ｂ型事業所　すまいる・きゃりあ　管理者兼サービス管理責任者
- 特別支援学校地域就労支援アドバイザー
- 学校関係者（ＰＴＡ代表）

協議内容：令和７年度事業計画について
令和６年度卒業生の進路先について
令和７年度高等部３年生・２年生の就業体験について　他

それぞれの立場から、就労を目指すための有効な支援や、家庭の役割などについてのご意見を伺いました。

〇仕事上守らなければいけない約束事などを忘れてしまう人への対応について
- 分からないときは、「分かりません」とはっきり言う方が、企業側は、何度も説明したり、説明の仕方を考えたりできる。
- 分かったつもりでも分からなくなることがあるため、メモを取るとよい。

〇就労を目指すために、家庭で取り組めることや、家庭に求めることについて
- 言われたことを一生懸命やろうとする素直さが大事である。
- ルールを守ることを認識することが大事である。「何のために、なぜルールを守らなければいけないのか」ということを、家庭でも身に付けさせることが必要である。

これらの意見を参考に、家庭と協力して、働くために必要な力を育てていきたいと思います。

次回は令和８年１月１６日（金）の予定です。児童生徒の自立と社会参加の推進を目的に、今後も関係機関と連携して、就労支援の充実を図っていきたいと思います。